

## 防除情報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第3号

## 茶のクワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第1世代のふ化盛期が例年に比べ早くなっています。下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

各圃場における発生状況に注意するとともに、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

## 記

## 1. 発生状況等

(1) 本虫第1世代のふ化盛期は、下表のとおり平年より早いと予測される。

表 第1世代のふ化盛期予測日（4月26日時点）

地区名	標高(m)	令和3年	令和2年	令和元年	平年 (過去10か年)
東彼杵町太の原	360	5/7	5/22	5/21	5/21
五島市上大津	77	4/24	5/11	5/12	5/11

注1) 予測日は「有効積算温度則による防除適期予測法（農林技術開発センター茶業研究室）」により、東彼杵町太の原（農林技術開発センター茶業研究室による測定値）、五島市上大津（アメダスデータ）で予測した。なお、4月26日以降のデータは平年値を用いた。

注2) 今後、気温が高くなるとふ化盛期が早まる可能性があるので注意する。

(2) 4月前期の巡回調査（15筆）の結果、寄生株率は0.8%（平年値4.5%）、発生圃場率は40.0%（平年値42.2%）であった。

(3) 気象予報（福岡管区气象台、令和3年4月22日発表）によると向こう1か月の気温は高い見込みである。

## 2. 防除対策

(1) ふ化後の幼虫が1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期（50%ふ化卵塊雌率が半数となった日）～ふ化盛期5日後までに防除する。現地ではふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。なお、同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なると、ふ化盛期が前後する場合がありますので注意する。

(2) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

(3) 収穫中の園では、収穫終了後に防除を実施する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）TEL：0957-26-0027

